

中性脂肪 高くないですか？

“脂質代謝異常”や“肥満”は
さまざまな病気の引き金になります。

☑ 定期的に **健康検査** を受けてみましょう



飼い主さんには健康に見えていても、いつの間にか病気が進行していることも。よりよく年齢を重ねるためにも、元気なうちから定期的に健康検査を受けることが大切です。「健康」が確認できれば何よりですし、定期的な受診こそが、病気の早期発見・早期治療を可能にします。

どれも大切!

健康検査 3 セット

下の3つはどれも大切な検査ですが、1つの検査だけでは不十分なことも。年齢や状態に合わせて検査を組み合わせ、全身をチェックすることが大切です。

血液検査

肝臓や腎臓などの各臓器の機能や、脂質代謝異常や貧血の有無など、おおまかな全身の状態を知ることができます。

画像診断

レントゲン・超音波検査では、血液検査で検出できない肺や関節の状態、臓器の形状、腫瘍の有無などを確認できます。

尿検査

膀胱炎や尿石症の有無はもちろん、腎臓・肝臓の機能や糖尿病などの内分泌疾患を調べられます。

当院では犬猫の健康検査を実施しております。お気軽にご相談ください。

グッド・エイジングのために見逃したくない

3つの「未病」状態

「未病」とは、「健康」から「病気」へ向かっている状態のこと。

動物病院で調べたりおうちでケアすることで、
病態の進行を遅くしたり、再び健康へ向かわせたりできる場合もあります。

覚えておきたい3つの「未病」状態を紹介します。

— 1 —

酸化ストレス度が 高い

体内で活性酸素が増え、細胞や組織が障害を受ける（＝サビつく）度合いが高いと、老化が進んだり、あらゆる病気にかかりやすくなったりします。抗酸化を意識したケアを取り入れてみても。



— 2 —

過剰に太っている・ 痩せている

過度の肥満は糖尿病や関節炎の悪化を引き起こしやすく、慢性腎臓病などの慢性疾患においては、痩せ過ぎると寿命が短くなるという研究報告もあります。※

— 3 —

脂質代謝異常

高脂血症とも呼ばれる、血液中の脂質（コレステロールや中性脂肪）の数値が高い状態。すい炎や糖尿病・肝障害などさまざまな病気のリスク因子と考えられています。

※ [Association between body condition and survival in dogs with acquired chronic kidney disease] J Vet Intern Med. 2011 Nov-Dec より

当院では犬猫の健康検査を実施しております。お気軽にご相談ください。